

Aグループ

教育効果（活性化を含む）を生む適正規模・適正配置の方策

「見附市の良さ」が優先

横軸：児童生徒の多様性に対応できる教育環境

縦軸：児童生徒にとって公平で良好な教育環境

1

赤字：小学校
青字：中学校

重要度大

2

地域の伝統
人とのかかわり方

① ② ③

資金予算

④ ⑤ ⑬ ⑮

学校規模によらない
教育環境を与えたい

① ② ③ ④ ⑤

バスなど
子どもたちの
移動手段

⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫

- 1-① 地域行事等で地元との結び付きが深い。
- 1-② 各学校間での交流。
- 1-③ 各学校単位で行われている地域行事を共有してはどうか。
- 1-④ ・財政調整基金とは？・有無を問わず、お金がないから。
・今のままの運営ではムリということか？6年後はすぐそこ。以降は何もできないということなのか。
- 1-⑤ 資金でどこまでできるのか！
- 1-⑥ 小学校を小規模校で過ごしてきた子どもたちが中学に進みある程度生徒数が増えた環境で対応しているのだろうか？もし対応できていなければ小規模中学の検討。
- 1-⑦ 大規模校の学区の変更。

多様性

① ⑥ ⑦ ⑬

子どもの活動が優先

3

- 3-① オープンスクールを選んで小学校を決めた子どもたちはその後、どのような進路を歩んできたのだろうか。
→多様化に対応できる中学の必要性。

緊急度大

- 2-① 教科専門の教員配置。
- 2-② 児童数が少なく修学旅行が心配。
- 2-③ 各部活動の役割。（地域移行できている部活動とできていない部活動の差）
- 2-④ 部活動の地域移行のあり方。
- 2-⑤ 運動会や体育祭、音楽発表会の意味について。（時間配分について）
- 2-⑥ 学習用のバス確保。
- 2-⑦ もし通学手段が整っていたならば（スクールバスの充実）大規模校に行きたかった子どもたちもいるのでは。
- 2-⑧ 小規模校学区の児童が大規模校を希望できる。
- 2-⑨ 子供たちの移動手段の確保。
- 2-⑩ 子供たちの移動手段の確保。
- 2-⑪ 冬の登下校について。（バス等は必要か？）
- 2-⑫ 登下校班の見直し。（児童数の多い班、少ない班が明確）
- 2-⑬ 他人の意見を尊重できている。自己肯定できている。
- 2-⑭ 施設の老朽化に対する学校側と教育委員会での考え方について。（小・中共通）
- 2-⑮ 建物、設備の老朽化対策。

社会の環境変化への対応が優先

Bグループ

教育効果（活性化を含む）を生む適正規模・適正配置の方策

「見附市の良さ」が優先

横軸：児童生徒の多様性に対応できる教育環境

縦軸：児童生徒にとって公平で良好な教育環境

1

赤字：小学校
青字：中学校

見附のよさ
① ②

1-① プレイラボが成功しているので（他の地区にも似たような事を）
→ぜひ!! 公民館の一室に子供が毎日遊べる部屋をつくる。
1-② 各地区でのコメがある。

2

重要事項
① ② ③

2-① 子供の健康や安全が確保できる先生の数と施設環境。
2-② 体育祭や文化祭など頑張った!青春だった!という経験をしてほしい。→ある程度人数が必要。
2-③ 学校の老朽化が進んでいる。危険な所は早急に直してほしい。
2-④ みつば学校を1つの中学校に。
2-⑤ コミュニティバスに乗れない子もいる。
2-⑥ 子育て（小学校や幼稚園）児などの家庭などの若いパパたちが住みやすいアパートなどをアピール。
2-⑦ 見附に残りたい子たちに見附市の大人がカッコイイと思える。
2-⑧ コミュニティ紙があるが、今は見れない。
2-⑨ 見附市の住みやすいランキングが上がったことを更にアピール。
2-⑩ 部活が少ない。
2-⑪ 大規模校のクラス人数 1クラス30人程度に!
2-⑫ 小規模校の人は大規模校を選べる。

すぐに対応できるとうれしいこと
④ ⑥ ⑧
⑤ ⑦ ⑨ ⑩

子どものための教育環境
⑪ ⑫

地域事情・学校事業が優先

子どもの活動が優先

3

緊急度小

5~10年後を見据えて
① ③ ④ ⑤
②
思い切って学校を減らす!!

校舎の利用法
⑥

3-① 先ずは統合しやすい上北谷小、第二小などの近い学校から思い切って統合したらどうか?
3-② 10年後大規模校1~3校、小規模1校行きたいところを選べる。
3-③ 10年後には大規模校と小規模校にして選んでもらう。コミュニティバスを活用（スクールバスとして）
3-④ 学校を減らしたことによりもっと充実した子供のためのものにコトに予算をつけてあげたい。
3-⑤ 財政で厳しいならば小規模校をひとつに。その分子供が良い経験ができるイベントや体験を行う。
3-⑥ 思い出になくす校舎に絵を描く、アート →何かに使えるか!?
3-⑦ 特色のある小規模校にする。
3-⑧ 特色のある小規模中学校があってもよい

4

緊急度大

魅力のある学校に行きたくなる!!
⑦ ⑧

4-① 統合前にイベントで各学校が協力して行う祭りのものを開催。
4-② 実際に歩いて学校への光則を知るツアー。
4-③ 先ずは運動会等からミックスする。

小規模校同士の交流!!
① ② ③

重要度小

社会の環境変化への対応が優先

Cグループ

教育効果（活性化を含む）を生む適正規模・適正配置の方策

「見附市の良さ」が優先

横軸：児童生徒の多様性に対応できる教育環境

縦軸：児童生徒にとって公平で良好な教育環境

1

- 2-① 小学校オープンスクールの市外への働きかけ。
- 2-② 小規模校の良さ、魅力を味わってもらうために交換留学。
- 2-③ 現在、小規模校の3校交流が活発だが、大規模校との交流も進めてはどうか。
- 2-④ 小規模校の地域とのつながりの良い所は残したい。
- 2-⑤ 小学校区をブロック内選択制のオープンスクール。
- 2-⑥ 小規模校の一層の個性化。
- 2-⑦ 学校備品の新規購入ではなく、リサイクル・リユース・リデュースのやり方を市全体で確立したらどうか。
- 2-⑧ 免許外担当の解消。（教員の一定数の確保）
- 2-⑨ 1校あたりの職員数を増やし、教育活動の質的向上。
- 2-⑩ クラス替えの可能な学級規模。
- 2-⑪ 1校あたりの教育予算の増額。（トイレ・冷房・バリアフリー等）
- 2-⑫ 設備がよくてきれいな学校。（子どもの願い）
- 2-⑬ 教育の質の向上。教科担当を地域の専門家に依頼する!!
月1の特別講師継続性あり。
- 2-⑭ 教育の質の向上。教員同士の留学制度。2W程度。

重要度大

2

赤字：小学校
青字：中学校

7

教育の質の向上

8 10 12 14

9 11 13

小規模校の個性化

1 3 5

2 4 6

地域事情・学校事業が優先

子どもの活動が優先

3

9

10

- 3-① ゆるやかな小中一貫はできないか。（今小と今中）
- 3-② 学校視察時の学校からの要望・回答に対する当委員会からの回答はどうか。
- 3-③ 学校同士で有効活用できる資材の抽出。（本、楽器、草花など）
- 3-④ 改良・改修の年次計画が必要では。
- 3-⑤ 「国の基準」の学級数等でたたき台を作ってもらおう。
- 3-⑥ 中学校は9クラス→R18に西中9見附6南中3。（会議資料から）
- 3-⑦ そうした時のメリットデメリットを整理する。→市民アンケートへ。
- 3-⑧ 中学になった時の地域の統合や再配置は地域優先なのか？人数優先なのか？
- 3-⑨ 先を見据えた思考、理想と現実のギャップをどう考えていくか？
- 3-⑩ 家庭における教育費やPTA役員等の負担の増加。

統合等に向けた方向性

1 2 3 4

5 6 7 8

4

バスの活用

1 2 3

多様性への対応

4 5 6 7

緊急度大

不登校
いじめ

ICTの活用

8

- 4-① 学区の再編に伴う移動手段の確保。（スクールバスの活用）
- 4-② 小規模校の人数を増やすためのスクールワゴン（ハイエース）の導入。
- 4-③ 冬場の生徒送迎のカミュニティバス活用などの仕組みを市全体でバックアップできないか？（現在地域対応に止まっている）ボランティア活動。
- 4-④ 児童、生徒の多様性とはどうつかもうとしているのか？また、どうまとめようとしているのか？
- 4-⑤ 不登校児童等への対応も大事。
- 4-⑥ 子供達の多様性に対応できる教育環境とは具体的に何に配慮しようとしているのか？
- 4-⑦ 多様性に触れる機会を作る。障がい者施設訪問など。
- 4-⑧ P C。ITを使った教育方法が今後加速化すると思うが、先生サイドはついていけるのか？

社会の環境変化への対応が優先

Dグループ

教育効果（活性化を含む）を生む適正規模・適正配置の方策

「見附市の良さ」が優先

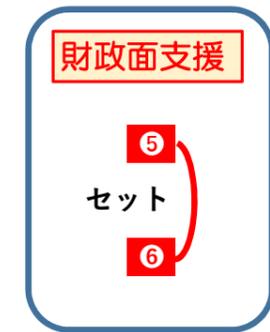
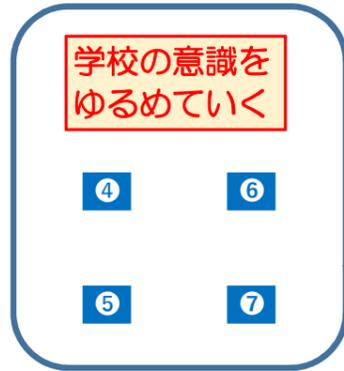
横軸：児童生徒の多様性に対応できる教育環境

縦軸：児童生徒にとって公平で良好な教育環境

1

重要度大

2



赤字：小学校
青字：中学校



- 2-① コミュニティスクールの活性化→地域とのつながりが大切。
- 2-② コミュニティスクールの活性化→地域とのつながりが大切。
- 2-③ 部活動の共同実施。（地域移行前）
- 2-④ 吹奏楽部3校が県大会出場→市内での競い合いによる効果。
- 2-⑤ 「特色」ある見附市の教育。財政面からの支援を厚くしたい。
- 2-⑥ スクールバス、遠い学校への通学手段。

地域事情・学校事業が優先

子どもの活動が優先

3

緊急度小

- 1-① 学校行事を合同で行う検討。（修学旅行・運動会など）
- 1-② 市外小規模校との交流。
- 1-③ 他校で2～3日授業を体験できる。（交換学生）
- 1-④ 小中一貫校を市内に2つ+オープンスクール1校。
- 1-⑤ 複数の校舎を利用し1つの学校としても良い。旧A校と旧B校を利用し、例えば1, 3, 5年でA校、2, 4, 6年でB校とするなど。
- 1-⑥ キャンパス型の学校。A小学校→○○校舎・△△校舎
- 1-⑦ 専門教科の中学校間交流。
- 1-⑧ オープンスクール=小規模は3校も必要ないと思う。各校が小規模すぎて（全て複式学級）本来メリットのある部分が目立たず、デメリットが多く感じる。
→今より魅力のあるオープンスクールを1校作る!! 複式にならない位の小規模校を目指す。
- 1-⑨ オープンスクール3校は多い。→小規模校のよさ（複式にならない程度）は残したい。

4

緊急度大

- 4-① 4校を何校にするとよいか。（メリット・デメリット）
- 4-② 8校を何校にするとよいか。（メリット・デメリット）
- 4-③ 具体的な案を出して議論していないので話がしにくい。着地点が正直見えない。



重要度小

社会の環境変化への対応が優先